

大仙市アーカイブズ ニュースレター 第6号



大仙市マスコットキャラクター
まるひちゃん

新着資料展「平瀬家資料」 ～中仙地域のとある土蔵に残された資料～

大仙市アーカイブズでは、行政が作成した重要な公文書と、地域の旧家等に伝えられた資料を、地域共通の財産として保存・活用するための整理作業を進めています。

令和元年度は11名から1万1千点を超える貴重な資料の御寄贈がありました。今回の新着資料展ではその中から「平瀬家資料」約50点を展示しています。



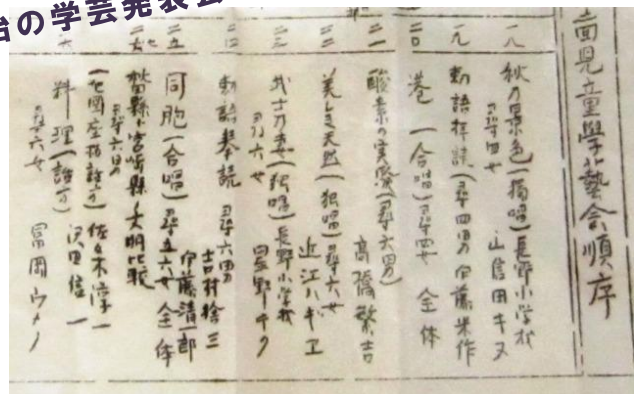
期間：8月22日（土）
～11月7日（土）
会場：大仙市アーカイブズ

長野村の肝煎資料



長野村の肝煎を務めた平瀬家。藩から村々へ下された指示や連絡等を書き留めたものや、戊辰戦争時に藩が軍資金の調達を行った記録などが残されています。

明治の学芸発表会



鶯野尋常小学校第二回児童学芸会順序（明治43）

貯蓄ハ米英ヲ撃滅スル弾丸トナル



必勝貯蓄ヲ必要トスル一例図解

戦争遂行のため、国民一人ひとりの貯蓄の必要性について、インフレを抑えるための経済理論を織りまぜて解説されています。

**開催期間は11月7日（土）まで
ぜひお越しください**

平瀬家資料

平瀬家は、大仙市中仙地域の長野地区で、かつて呉服商を家業としていました。昨年度（令和元年度）、土蔵に残された資料を御寄贈いただきました。資料数は1,430点もあります。

江戸時代には代々「多右衛門」と名乗り、長野村の肝煎を務めたことや、明治時代には長野村の戸長を務め、戊辰戦争の戦後処理を行ったこと等についての資料が残されています。

また秋田県会議員、郡役所書記、さらには長野村の村長、村会議員、学務委員、秋田県種苗交換会評議員など地域の代表者としての顔も垣間見ることができます。そのほか、日露、太平洋戦時下の戦地からの便り、戦勝祈願の日の丸への寄書き、戦時中の長野村婦人会の活動なども残されていました。

ひとつの家に残された資料を通して江戸時代から戦前までの、私たちの地域の歴史に触れることができる資料群です。



鞘（さや）に覆われた平瀬家の内蔵

とある土蔵の戊辰戦争の記録 ～平瀬家の展示資料から～

当館で開催中の平瀬家資料展。戊辰戦争に関する資料も展示しています。

慶応4年（1868）閏4月29日付で、村々の肝煎宛てた書状には、戦況が具体的に記されています。



「書状（戊辰戦争）」 慶応4（1868）平瀬家資料

内容

- ① 会津征討では官軍が白河口から仙台まで敗走
- ② 奥羽鎮撫総督・九条道孝を仙台藩が軟禁
- ③ 庄内征討では渋江隊が案内に欺かれた
- ④ 奥州勢が官軍と合戦になる風聞が届いている

藩内の
村々に伝達

この資料から分かること

- ①は閏4月20日から始まった「白河口の戦い」序盤の戦況と推測できます。遠方の福島での出来事が、わずか10日前後で藩内に伝達されていることに驚かされます。
- ②も閏4月20日の出来事。それまで官軍（新政府軍）に従ってきた仙台藩が、官軍リーダーであった九条を軟禁、東北の戊辰戦争における分岐点となった事件です。
- ③については、この頃、秋田藩は新政府に従い庄内征討に出兵し、閏4月19日から戦闘を開始していました（秋田口の戦い）。書状には矢島（由利本荘市）に出陣していた渋江厚光隊について書かれており、秋田藩が総崩れになった一端が記されています。
- ④に「風聞」として“奥州勢と官軍の合戦”が伝えられていますが、直後の5月6日に奥羽越列藩同盟が成立していますので、後の展開を予見し、藩内に伝えていたのかもしれませんが。

◆村人達も戊辰戦争を生き抜いた

この書状が出された約2ヵ月後の7月上旬に秋田藩は奥羽越列藩同盟を脱退し、庄内藩や仙台藩をはじめとする東北諸藩との戦闘が始まりました。村々には軍用金の割り当てのほか、人夫や馬の供出が命令され、村人達も戊辰戦争に巻き込まれていきました。

秋田戦争とも呼ばれているこの戦いでは、現在の大仙市一帯も戦場となりました。平瀬家がある長野村では185軒中25軒（13.5%）の民家が焼失しています。

防衛上の要所であった刈和野村では276軒中247軒（89.5%）、境村は74軒中74軒（100%）、小種村は105軒中101軒（96.2%）が焼失、角間川村（当時平鹿郡のため右表に無し）も1軒を残して焼失しています。

近代国家樹立の大義のもと、私たちの地域に甚大な被害と犠牲をもたらした戊辰戦争。その記憶は徐々に薄れてしまうからこそ、残された記録を大切に伝えていく必要があります。

いべんと瓦版

◆企画展

大仙市誕生 15周年記念展示
「これぞ大仙！！～人・モノ・文化～」

期間：10月13日（火）～12月25日（金）

場所：大仙市アーカイブズ

仙北地域の池田家には、戊辰戦争による焼失軒数（慶応4年8月13日～9月18日）の資料が残されています。

地域	村名	軒数	焼失軒数	割合
大曲	花館	304	45	14.8%
	内小友	297	4	1.3%
	蛭川	57	57	100.0%
	高関上郷	125	1	0.8%
	大曲西根	183	6	3.3%
	中田新田	45	1	2.2%
	宮林新田	71	3	4.2%
	川目	85	11	12.9%
	藤木	166	48	28.9%
	小貫高畑	126	2	1.6%
	下深井	41	21	51.2%
	四ツ屋	177	26	14.7%
	新谷地	65	13	20.0%
神岡	神宮寺	473	37	7.8%
中仙	長野	185	25	13.5%
	鐘見内	98	10	10.2%
	八日市	16	1	6.3%
	長戸呂	25	4	16.0%
西仙北	刈和野	276	247	89.5%
	九升田	28	2	7.1%
	強首	124	20	16.1%
	北野目	46	40	87.0%
	大沢郷宿	181	58	32.0%
	金山沢	10	8	80.0%
協和	峰吉川	159	8	5.0%
	境	74	74	100.0%
	上淀川	65	30	46.2%
	小種	105	101	96.2%
	下淀川	75	25	33.3%
南外	南橋岡	407	54	13.3%
	外小友	236	2	0.8%
仙北	橋本	49	5	10.2%
太田	太田	70	6	8.6%
	国見下関	98	2	2.0%
	駒場	52	2	3.8%
	川口	58	2	3.4%
	国見上関	68	8	11.8%
	小神成	38	7	18.4%
	横沢	50	5	10.0%
	齊内	73	15	20.5%

「仙北郡兵火二付焼失取調書」慶応4（1868）池田家資料

